

ICF 四半期報告

2025年4月～6月

<4～6月活動報告>

◆カーボנקレジットDeep-Dive Workshop (4/14)

4月14日、三菱地所のイノベーション拠点「0Club」で、昨年度実施したカーボנקレジットDDWの最終回として振り返りディスカッションを開催しました。市場活性化のための政策提言に向けたエコシステム構築や需要家にとって利用しやすい市場形成など、これまでの主たる論点を踏まえた課題と次のアクションの具体的なアイデアを深掘りしました。参加者とのインタラクティブなフロアディスカッションの時間も設けました。登壇者は市場の今後の成長予測や、中長期的な視点を持ちつつ着実に取組むことの重要性を強調しました。さらに、認知向上、ルール整備、需要拡大には企業間の連携と共創が不可欠で、日本での民間を軸としたエコシステム構築の必要性が示されました。今後、ICFではステークホルダー連携によるルール形成への取組み、政策提言に向けたエコシステム構築やトライアル調達を予定しています。開催レポート：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23090/>



話題提供：日本GX総合研究所 鳥井氏



ディスカッション

◆2025年度ICF総会 (4/22)

4月22日、2025年度ICF総会を開催しました。今年度は、ICFの基本方針である社会課題を起点とした共創活動に加えて、先端技術と既存技術の組み合わせや技術シーズの活用といった視点からの社会課題解決策の探索も推進していく予定です。基調講演では「技術視点から社会課題をどうとらえるか」と題して、[株式会社AIST Solutions](#)から話題提供をいただきました。また、3月末にリリースした「[社会課題リスト2025](#)」のアップデートポイントを担当者から説明しました。最後に、新規に加入された8つの企業・団体会員から事業の紹介とICF活動への期待についてピッチいただきました。

総会終了後の交流会では、会員同士の活発なネットワーキングが行われ、盛会となりました。

開催レポート：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-22885/>

アーカイブ動画：<https://icf.mri.co.jp/limited/foundational/foundational-22851/> 【ICF会員限定】



ICF総会当日：会場全体

◆孤独・孤立対策イベント「望まない孤独のない社会の実現に向けて」(5/28)

社会全体の問題として認識される「孤独・孤立」に関する理解の浸透と対策を推進するため、政府は5月を「孤独・孤立対策強化月間」に設定しています。これにあわせ、5月28日にNPO法人あなたのいばしょ（ICF賛助会員）との共催、横浜市立大学COI-NEXT拠点の協力のもと、孤独・孤立対策イベントを開催しました。今回のイベントでは、特に若者に焦点をあて、産官学民の有識者による孤立・孤独の現状、課題解決に向けた取組みの紹介、パネルディスカッションが行われ、孤立・孤独問題の包括的、持続可能な解決策を考えるきっかけとなりました。イベントの冒頭には、三原じゅん子 内閣府 特命担当大臣（孤独・孤立対策担当）よりご挨拶をいただきました。

開催レポート：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23314/>

アーカイブ動画：<https://icf.mri.co.jp/limited/field/field-23367/> 【ICF会員限定】



三原 じゅん子 内閣府 特命担当大臣
(孤独・孤立対策担当)



講演者・パネリストの皆さま

◆第7回 ICFオンライン座談会 ～スポーツがつなぐ地域と未来～ (5/29)

スポーツを通じた地域活性化と人材育成に取り組む、株式会社スポーツネーション 三木氏と公益財団法人笹川スポーツ財団 澁谷氏に登壇いただきました。

スポーツネーションの「NEO福岡」は、地域の若者・企業・プロスポーツチームが垣根を越えて連携し、地方創生と次世代育成を一体的に推進するプラットフォームを提供。地域の新たな価値創造と、福岡から全国へこの取組みを広げていくことを目指しています。笹川スポーツ財団の「アクティブシティ推進事業」は、スポーツ・運動、健康づくり、まちづくりに関わる組織や人々が協働し、住民一人ひとりのウェルビーイングの向上を目指すとともに、スポーツの多様な価値を活用して地域課題を解決する官民連携プラットフォームを構築しています。

両社の取組みは、エンターテインメントの域を超えてスポーツを地域再生の軸とし、新しいコミュニティ形成や世代間の橋渡しを行っています。詳細は開催レポート・アーカイブ動画をご覧ください！

開催レポート：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23480/>

アーカイブ動画：<https://icf.mri.co.jp/limited/field/field-23492/> 【ICF会員限定】

◆第8回 ICFオンライン座談会 ～更年期クライシス～ (6/24)

近年、女性の更年期症状が社会生活に与える影響に加え、男性にも更年期症状があることが広く知られるようになってきました。人口の多いミドル世代は、社会の中核を担う重要な年代であり、心身の変化や不調は、活力ある社会の維持において見過ごせない課題です。

今回は、男女双方の更年期問題に取り組む株式会社カランドリエの手塚氏と小林氏をお招きし、男性・女性それぞれに見られる心身の変化や健康リスク、そしてその対処法について、分かりやすくご講演いただきました。

詳細は、ICFサイトにて近日公開予定の開催レポートとアーカイブ動画をご覧ください。

◆ICFロボット研究会 #1 ～ロボットが変える未来の働き方～（6/25）

ロボット研究会の第1回イベントを開催しました。本研究会では、SF思考を活用して、20年後の未来社会における、農業や施設管理領域でのロボット活用の姿を創造します。そのために未来社会での人々の暮らし、新たな価値観などを具体化する必要があります。

本イベントでは、株式会社電通総研にて、先進技術の研究・開発や企画推進などに携わる渋谷氏にご登壇いただき、ロボットが動くこと・動かすことの価値や、ロボットなどを活用することで場所に囚われない働き方の実現を目指す「遠隔就労研究会」の取組をご紹介いただきました。様々な産業で浸透する遠隔就労（リモートワーク）の姿を示し、どこにいても孤立、孤独を感じないにぎやかな社会の実現にあたって、ロボットと共創する未来社会について議論しました。質疑応答では、ロボットの遠隔操作におけるネットワーク遅延の影響などについて、参加者から関心が寄せられました。

詳細は、ICFサイトにて近日公開予定の開催レポートをご覧ください。

◆社会課題ディスカッション（6/26～27）

3月に改訂した「社会課題リスト2025」を題材に、社会課題ディスカッションを開催しました。

今回の改訂で整理された7つの領域のうち、26日にDE&Iと教育・人材育成、27日にエネルギー・環境とモビリティをテーマに実施しました。特に、教育・人材育成領域では、ICF会員企業の株式会社ハタプロと株式会社アカリクにご登壇いただき、地域をフィールドとした起業家教育の事例や、博士人材活用の取り組みについて発表いただく「インプット型」で進行了ました。一方、他の3領域については領域の解説後、グループ分けをしてディスカッションを行い、課題解決に向けた具体的なビジネスアイデアを模索しました。例えば、モビリティ領域では、飲酒運転検知や逆走防止といった提案が出されました。また、ビジネス化が難しいとされるDE&I領域についても積極的な議論が展開され、参加者からは「多様な背景を持つ方々とのディスカッションが非常に有意義だった」「DE&I領域のビジネス化はまだ課題が残る」「エネルギー領域では、小規模実証を想定したフィールドの確保が鍵になるのでは？」といった多様な意見が寄せられました。今回のディスカッションを踏まえ、出たアイデアの具体化を目指し、第二回の開催を検討していきたいと考えています。



社会課題ディスカッション：会場全体



グループディスカッション

◆ディープテックコラム

ICFでは、社会課題を起点とした共創活動に加え、技術を基盤とした社会課題解決と未来社会の創造を目指す活動を本格的に始動しました。このアプローチは、社会課題の現状把握だけでなく、解決に向けた技術手段や実装プロセスに焦点を当て、より実効性のある解決策を構築することを目的としています。ディープテック^(※)を含む新技術の社会実装には時間を要し、研究開発から実社会への適用までに数十年を要することもあります。しかし、ディープテックが社会課題の解決と未来社会の創造に寄与することは、これまでの歴史を振り返っても間違いありません。

前記方針のもと、新設したコラムでは、社会課題解決に寄与する技術、特にディープテックを分かりやすく紹介します。第1回は「触れる技術で進化するロボット」と題し、ロボットと触覚技術の融合によって実現される未来の建物の姿を構想しました。今後も連載予定ですので、ぜひご一読ください。

第1回「触れる技術で進化するロボット」：<https://icf.mri.co.jp/information/information-23255/>

(※)社会課題を解決して生活や社会に大きなインパクトを与える科学的な発見や革新的な技術

◆ランチミーティング（参加会員募集中）

この度、ICF会員の皆様とICF推進オフィスとの関係をより深めるために、4月から弊社オフィスでランチミーティングを開催しております。これまでに15を超える企業・団体の皆様にご参加いただいております。ランチミーティングにご興味のある会員様を随時募集しておりますので、ぜひお気軽にお問い合わせください！！

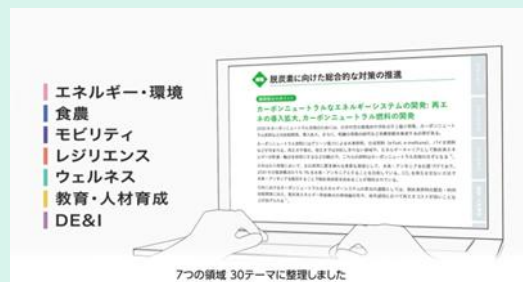
お問い合わせ先：icf-ing@ml.mri.co.jp（未来共創イニシアティブ 推進オフィス）

◆三菱総合研究所 公式note・YouTube「社会課題リスト」紹介記事・動画公開

「社会課題リスト2025」の紹介記事を三菱総合研究所の公式noteに、紹介動画を公式YouTubeに公開しました。ぜひご覧ください。



MRI公式note ハロー、イシュー。
三菱総合研究所の「社会課題リスト」を知っていますか？
<https://note.mri.co.jp/n/nd2cbd70dd154>



MRI公式YouTube
三菱総合研究所「社会課題リスト」を1分で紹介
<https://youtu.be/u3G8BKDMwew>

◆未来共創イニシアティブ参加規則の一部改定（7/1付）

7月1日より、未来共創イニシアティブ（ICF）参加規則の一部を改定しました。

社会課題解決の実装に向けた共創活動を強化、推進していくにあたっては、今後、領域やテーマによっては、ICF会員以外のステークホルダーの知見・技術・サービスなどを活用する場面が増えることが想定されます。こうした状況を踏まえ、すべての参加者が一定のガバナンスのもとで主体的に活動できるよう、第6条（会員外参加者）に以下の項目を追加しました。

条項	改定前	改定後
第6条（会員外参加者）4項	規定なし	会員は、会員外参加者が参加する活動に関し別途規則を制定することができる。この場合において、会員は当該規則の内容について事前に当社の承諾を得なければならない。

< 7月以降の活動予定 >

◆パブリックアフェアーズセミナー ～「骨太方針2025」を読み解く～（7/17）

昨年度からの一連のパブリックアフェアーズ（PA）活動を踏まえて作成しました「PAガイダンス（基礎編）」のご紹介とともにPAの基本動作である政策動向の把握という視点から、政府の「骨太方針2025※」の読み解きを行います。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

（※）「経済財政運営と改革の基本方針2025 ～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～」

開催日時：7月17日（木）14:00～15:10

開催形態：オンラインのみ（Zoom）

概要ページ：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23408/>

お申込みページ：<https://mri.smartseminar.jp/public/application/add/9422>

◆第9回 ICFオンライン座談会 ～ヘルスケアの事業化って？～（7/29）

高齢化に伴い医療・介護費が増加傾向にある中、公的保険制度も持続困難となることが予測されます。健康寿命の延伸、予防医療の推進、未病対策の強化は喫緊の課題です。

近年、ヘルスケア業界への異業種参入も増えている中、その事業機会や事業障壁はどのようなものがあるのか、事業効果として何を示していくのか、三菱総合研究所が進めている事例を紹介するとともに、一般社団法人ヘルスケアイノベーション協会の天野代表理事にご登壇いただき今後の業界動向・新事業開発についてお話しいただきます。

開催日時：7月29日（火）12:00～13:00

開催形態：オンラインのみ（Zoom）

概要ページ：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23471/>

お申込みページ：<https://mri.smartseminar.jp/public/application/add/9456>

◆ICFロボット研究会 #2 ～テクノロジーの先駆者が描く未来社会～（7/30～31）

2日間に渡り、ロボット研究会（第2回）を開催、大学発ベンチャーなどが描く未来社会を紹介します。Day1「農業」では、豊橋市役所の桑原氏と輝翠株式会社 小林氏より、農業での人手不足の解決策となる、ロボットの可能性などについて、Day2「施設管理」では、株式会社アイ・ロボティクス of 安藤氏と株式会社TriOrbの石田氏より、施設管理（清掃・点検）におけるロボットの可能性などについてお話しいただきます。ぜひご参加ください！

開催日時：7月30日（水）・7月31日（木）両日12:00～13:00

開催形態：オンラインのみ（Zoom）

概要ページ：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-23478/>

お申込みページ：<https://mri.smartseminar.jp/public/application/add/9488>

◆2025年度 ICF中間報告会&Meetup（9/17）

2025年度ICF中間報告会&Meetupを、9月17日に三菱総合研究所本社およびオンラインにて開催します。詳細につきましては、後日改めてご案内します。

<ICF会員>

4/1～6/30に新規入会された会員数は、8社・団体（非掲載含む）で、6月末時点での会員数は、622社・団体となりました。

（新たにご入会された会員）

【企業】

◇株式会社アカリク <https://acaric.co.jp>

◇大日本印刷株式会社 <https://www.dnp.co.jp>

◇一般社団法人ヘルスケアイノベーション協会 <https://hc-innovation-association.org>

◇株式会社ユーザベース <https://www.uzabase.com/jp>

【スタートアップ】

◇VALT JAPAN株式会社（DE&I） <https://www.valt-japan.com>

◇EvoCare Japan株式会社（ウェルネス） <https://evocare.co.jp>

【賛助】

◇福井大学 <https://hisac.u-fukui.ac.jp>